

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域自殺対策緊急強化対策事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	岡本尚大			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、自殺対策を総合的に推進し、自殺者の減少を図ることを目的とする。						
事業の概要	自殺対策の普及啓発活動を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	416		360		489	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		自殺者数	人	6	12	11	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	自殺対策に係る講演会等を通じて、市民に自殺対策の知識の普及啓発を行うことにより、前年度と比較して自殺者数は増加してしまっているが、自殺者数の抑制に繋がった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	福祉まつり補助事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課			担当者	原 有美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	市内の福祉施設やボランティア紹介をメインに福祉まつりを通し、市民（健常者、障害者）が共に触れ合い福祉に対する理解を得る。						
事業の概要	さくら市健康福祉事業補助金交付要綱に則り、事業内容を審査し、事業費に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,234		1,234		1,234	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		福祉まつり参加団体数	団体数	76	77	78	79
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	参加団体は順調に増加傾向 福祉施設の紹介等啓発。中高ボランティアの活動					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市社会福祉協議会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	原 有美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	社協の活動に賛同する方が増加し、市民主体による自主運営比率が高まる。						
事業の概要	社会福祉施設整備費・運営費補助金として、事業内容を審査し運営費（人件費）に対して補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	10,688		36,361		32,326	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		社協の自主運営比率	%	96.09	86.02	81.65	82
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	職員6名分 俸給 諸手当 退職共済掛金 法定福利費					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川社会福祉センター管理業務			事業開始年度	平成18年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	吉澤 佳哲			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	高齢者等への健康の増進、教養の向上や各種福祉相談など、幅広く社会福祉事業に市民が利用でき、福祉の向上を図る。						
事業の概要	指定管理制度導入により事業を実施している。喜連川社会福祉センターは、さくら市社会福祉協議会に指定管理を委託している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,934		1,985		2,587	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		年間施設利用延べ人数	人	2,564	2,025	2,200	2,200
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	地域福祉事業の実施により多くの市民がセンターを活用し概ね目的を達成したが、前年度よりも利用者が増えたため、今後は利用者拡大を図る工夫が求められる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	民生委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課			担当者	原 有美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	民生委員児童委員研修会等に参加し、民生委員としての知識が高まり能力が向上する。						
事業の概要	民生委員児童委員協議会が行う事業（研修会等）に対し助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,222		6,840		7,229	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		活動日数	日	7,504	7,214	7,300	7,320
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	イベントの参加による地域連携、福祉ニーズの多様化に伴う知識を養う為の定例会、研修会により、概ね、民生委員に求められる地域での役割は達成されている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	高額療養費貸付事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課			担当者	原 有美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	必要な資金を貸し付けることにより、被保険者の生活の安定と福祉の推進を図る。						
事業の概要	医療費の一時負担が困難な市民に対し必要な資金を貸し付けすることにより、医療を受けることを可能にする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		500	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		貸付件数	件	0	0	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	実績なし 条件					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	災害被災者扶助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	西村 歩			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	火災風水害等により、住家の全焼又は全壊、流失等の災害を受けたときに、災害罹災者見舞金を支給することで、復興意欲の振起を図る。						
事業の概要	火災風水害等の被災者に、見舞金を支給する事業である。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	30		30		90	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	活動	見舞金支給件数	件	1	1	3	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	被災者の生活を支援することにより、生活再建を支えることは、地域福祉の推進に貢献している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市保護司会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	岡本尚大			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	塩谷保護区保護司会さくら支部の活動を支援する。						
事業の概要	塩谷保護区保護司会さくら支部に補助金を交付し、保護司の活動をサポートする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	74		74		74	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	活動	活動回数	回	41	43	31	38
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	罪を犯した者の更生や社会復帰の支援、犯罪の予防活動を行う保護司会の活動は、地域福祉の推進に貢献している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市更生保護女性会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	岡本尚大			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	さくら市更生保護女性会の活動を支援する。						
事業の概要	さくら市更生保護女性会に補助金を交付し、活動を支援している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	50		50		50	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	活動	活動回数	回	96	95	95	95
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	地域ボランティアとして更生保護思想の普及啓発や青少年健全育成活動を行っており、公益性が高いものである。更生保護女性会の活動は、地域福祉の推進に貢献している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市遺族会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	吉澤 佳哲			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域福祉活動の推進				
事業の目的	遺族会の各種事業（戦没者合同慰霊祭）・研修等を通し、会員の親睦と交流を深め、会の発展と遺族の福祉向上が図れる						
事業の概要	市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき、事業内容を審査し、団体運営費に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	213		213		213	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		各種事業参加延べ人数	人	241	237	230	230
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	栃木県戦没者慰霊祭参加、勝山・喜連川霊園清掃、栃木県戦没者追悼式参加、靖国神社参拝研修旅行、市戦没者追悼式開催 等計画どおりに事業を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	見守り福祉ネットワーク推進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民福祉部 喜連川支所市民生活課		担当者	藤枝 民雄			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動の推進				
事業の目的	要援護者が安全かつ安心して生活できる						
事業の概要	見守り協定を締結した協力事業所等が市と連携し、要援護者を見守り、異変の早期発見と迅速な対応を図ることにより、安全かつ安心して生活できる環境の構築を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	195		389		478	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
	活動	見守りに関する協定件数	件	30	28	30	31
	活動	災害時避難行動要支援者名簿掲載同意者数	件	826	1,123	1,233	1,343
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	見守りの体制が整備され、日常生活を送るうえで支援を必要とする方が、安全かつ安心して生活できる環境が維持できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	心配ごと相談事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	市民福祉部 市民福祉課		担当者	原 有美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	生活上の悩み等があっても、相談できる窓口があり、市民が安心して生活を送ることができる						
事業の概要	毎月1回心配ごと相談を行い、生活上の悩み事全般の相談を受ける（さくら市社会福祉協議会への委託事業 相談員は民生委員が担当）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	28年度		29年度		30年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	219		192		219	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	28年度 実績	29年度 実績	30年度 計画	31年度 計画
		相談者数	人	6	8	9	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	法律相談は毎月定員に達している。そちらへのニーズが高くなっている為、相談件数が減ってきていたが、平成29年度より「心配ごと相談所」として行政・人権相談と一緒に行うことにした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		